

群馬大学環境方針について

群馬大学は、平成18年2月に環境方針を制定し、環境汚染の予防、環境教育・研究の推進、法令遵守及び継続的改善を社会に向けて誓約しました。

群馬大学環境方針

1. 基本理念

国立大学法人群馬大学は、地球環境問題が人類全体の最重要課題の一つであることを認識し、本学における教育・研究及びそれに伴うあらゆる活動が環境と調和するよう十分な配慮を払い、広く地球的視野に立って環境負荷の軽減に努め、本学のすべての教職員・学生及び学内関連機関の職員が一致協力して、環境の保全・改善と社会の持続的発展に貢献する。

2. 基本方針

- (1) 常に地球的視野に立って環境に及ぼす影響を意識し、本学における地球環境の保全・改善活動を推進する。
- (2) 自然との共生を基盤とした豊かな人間性の涵養を目指し、環境の保全・改善に資する教育研究を推進する。
- (3) 自然環境を守り、豊かな地域社会を創るため、地域の関係機関と連携した環境保全・改善活動を積極的に進める。
- (4) 環境関連法規、条例、協定及び自主基準の要求事項を遵守する。
- (5) この環境方針を達成するために環境目的・目標を設定し、教職員、学生及び学内関係機関が協力して、その達成を図る。
- (6) 定期的に環境監査を実施し、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。

この方針は文書化し、すべての教職員及び学内関係機関の職員が認識するとともに、学生及び本学関係者に周知する。さらに、文書及びインターネットのホームページを用いて、本学関係者以外にも広く開示する。

平成27年5月25日
群馬大学長 平塚 浩士